

## 活動状況等報告

### ②圏域の活動状況報告

### ③斐伊川河口域の大型水鳥の生息状況

斐伊川水系 生態系ネットワークによる

大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

# トキの野生復帰に向けた出雲市の取組 ～出雲市トキ保護増殖事業の現在～

出雲市長 飯塚 俊之

## 1. 繁殖状況報告

年度	ペア	産卵数	ふ化数	巣立ち数
平成23年(2011)	N、AF	15	11	10
平成24年(2012)	N、AF	13	4	4
平成25年(2013)	N、AF、AK	15	7	6
平成26年(2014)	N、AF、AK	23	5	5
平成27年(2015)	N、AF、AK	24	5	3
平成28年(2016)	N、AF、AK	13	3	3
平成29年(2017)	AF、AK、BB	18	3	3
平成30年(2018)	AF、BB、BR	21	3	3
令和元年(2019)	AF、BY、BZ	11	4	4
令和2年(2020)	AF、BY、BZ	14	5	4
令和3年(2021)	BY、BZ、CL	16	3	3(3)
合計		183	53	48

## 2. 出雲市トキ学習コーナー10周年イベント

**出雲市トキ学習コーナー  
10周年イベント**

11月23日(火・祝)～28日(日)

**オリジナルグッズプレゼント(学習コーナー)**  
トキ学習コーナーに来場された方、各日先着20組さまにオリジナルグッズプレゼント

**トキのエサやりゲーム(学習コーナー)**  
トキってどんな生き物かを学ぼう、トキのえさを採って行ってみよう。

11月23日(火・祝)11:00～、14:00～  
**トキの仲間のエサやり体験(トキ近似種ケー)**  
トキ学習コーナー隣のトキの仲間を観てみよう

小学生とその保護者2人で1組  
午前午後それぞれ先着5組まで

①参加者氏名(学年) ②保護者氏名 ③希望時間  
④住所(全電話番号を書いてメール、FAX、電話にて  
お申し込みください。他開演終了場合があります。

11月28日(日)10:30～ **朱鷺会館2F中ホール**

**トキの仲間のエサやり体験付き**

**おはなし「出雲市でトキは生きていけるのかな」** **サモエット 佐藤 仁志さん**  
日本で一度絶滅したトキは、新潟県で野生復帰に成功しました。これから本州でもトキの野生復帰を目指します。出雲でトキは生きていけるのか、野鳥の会の佐藤さんからお話をさせていただきます。

お話を聞いてみたい方、親子20組または希望者計40名まで  
終了後、希望者10組までトキ仲間のエサやり体験に参加できますよ

①参加者氏名(学年) ②保護者氏名 ③エサやり体験希望 ④住所 ⑤電話番号  
を書いてメール、FAX、電話にて11月24日までにお申し込みください。

**パネル展**  
自然豊かな島

トキ学習コーナー

エサやり体験  
23日(火・祝)

おはなし  
28日(日)

お問い合わせ  
お申し込み先

1039-3  
mane.jp



## 3. 出雲市トキ公開施設とバックヤード体験



### 公開施設 入場者数

R1	16,634人	7月～12月
R2	15,099人	7月～3月
R3	23,352人	4月～3月
計	55,085人	

## 4. 出雲市トキによるまちづくり構想の改定

- 環境省

トキ野生復帰ロードマップ2025

トキ保護増殖計画改定

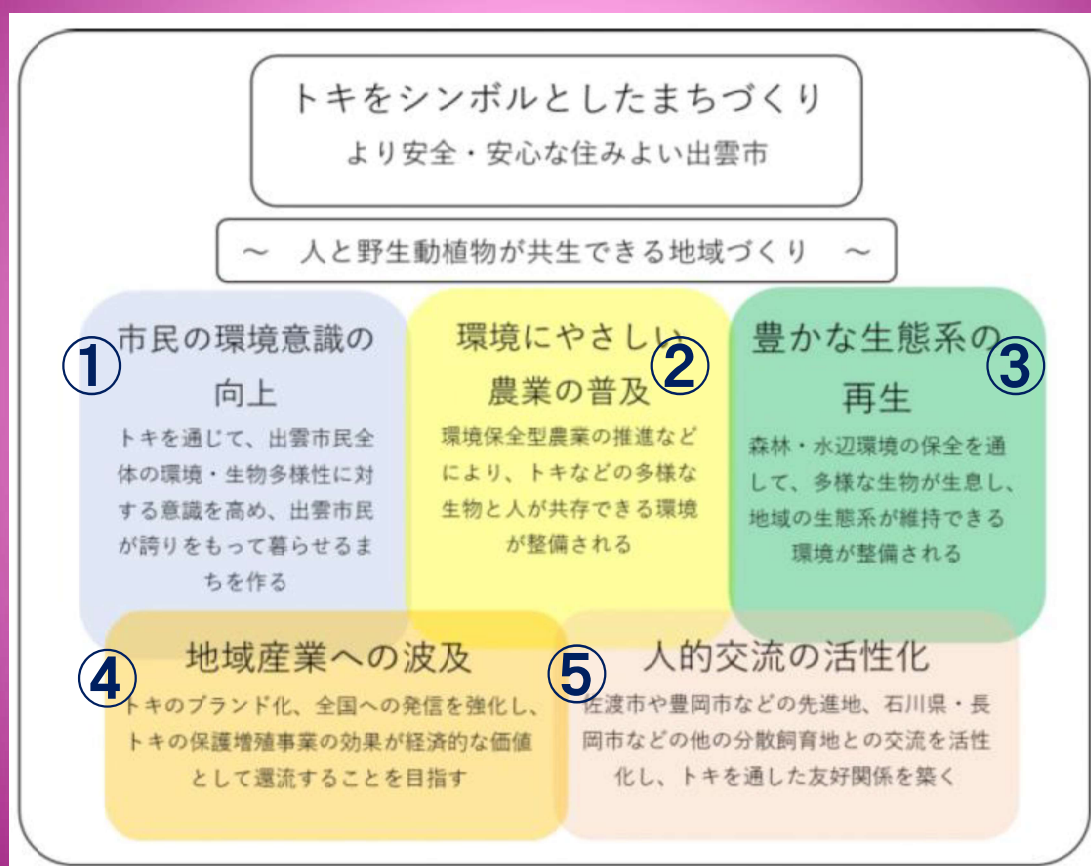
- 出雲市

出雲市トキによるまちづくり構想を出雲市での放鳥を目指すものに改定

- 「トキとの共生を目指す里地」

放鳥を目指す自治体を公募 5月予定

## 4. 出雲市トキによるまちづくり構想の改定



# 雲南市（コウノトリ）の状況紹介



## 1. コウノトリの状況

### (1) 令和3年

げんきくん (J0118) とポンスニ (J0051) が、雲南市立西小学校の人工巣塔で造巢（雲南市内で5年目、西小の巣塔で3年目）

月 日	内 容
3月11日	初卵推定
3月13日	本格抱卵開始
4月14日	ふ化（雲南市内5年連続）
4月30日	羽数確定 4羽
5月26日	足環装着
5月29日	雌雄判明
6月19日～26日	4羽の巣立ちを確認

### 【愛称募集】

コウノトリは、色がついた足環（あしわ）により、個体の識別ができるため、雲南市では、市内で誕生したひなに愛称をつけています。4羽のうち2羽の愛称は市民の皆さんから募集し、残る2羽については、人工巣塔がある西小学校児童に考えていただきました。

6月24日には、西小学校でコウノトリ愛称の提案が行われ、6年生児童が石飛市長と景山教育長に西小学校児童がこれまで取り組んできた内容や考えた愛称を選考理由とともに発表しました。

市民の皆さんからは、98件の応募をいただきました。



### (2) 令和4年

げんきくん (J0118) とポンスニ (J0051) が、雲南市立西小学校の人工巣塔で造巢（雲南市内で6年目、西小の巣塔で4年目）

月 日	内 容
3月11日	初卵推定
3月13日	本格抱卵開始
4月13日	ふ化（雲南市内6年連続）

## 2. 西小学校の取組

### (1) 「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」への参加

10月31日兵庫県と豊岡市が主催した会議に西小学校6年生7人がオンラインで参加。他県のコウノトリ繁殖地の小学生とそれぞれの取り組みを発表しあい、その後コウノトリとの共生にとって大切なことについて意見交換をしました。



### (2) 市民バスのデザイン

スクール混乗路線として、春殖線で運用していた市民バスの更新時期に合わせて西小学校児童が描いた9点のコウノトリを市民バスにラッピングしました。バス佐内には、西小学校のコウノトリの学習の取組やコウノトリに関するクイズを掲示しています。



## 3. 市の取組

### (1) 「コウノトリまなびパネル」作成

市民の方にコウノトリを知っていただくため10連のパネルを作成しました。作成にあたっては「キコニアまなびネット」のお二人（和田邦子さん、星野由美子さん）に執筆・編集をしていただきました。作成したパネルは春殖交流センターで展示するほか、市内の学校、図書館や交流センターなどで巡回展示をしていく予定です。



## (2) 出生届

「コウノトリをデザインした出生届を作っては？」  
とのご意見をいただき、3枚複写の出生届を作成しました。3枚目は本人控えになっており、赤ちゃんの写真を貼ったり、メッセージを記入できるようにしたりしています。



## (3) ふるさと納税（クラウドファンディング）

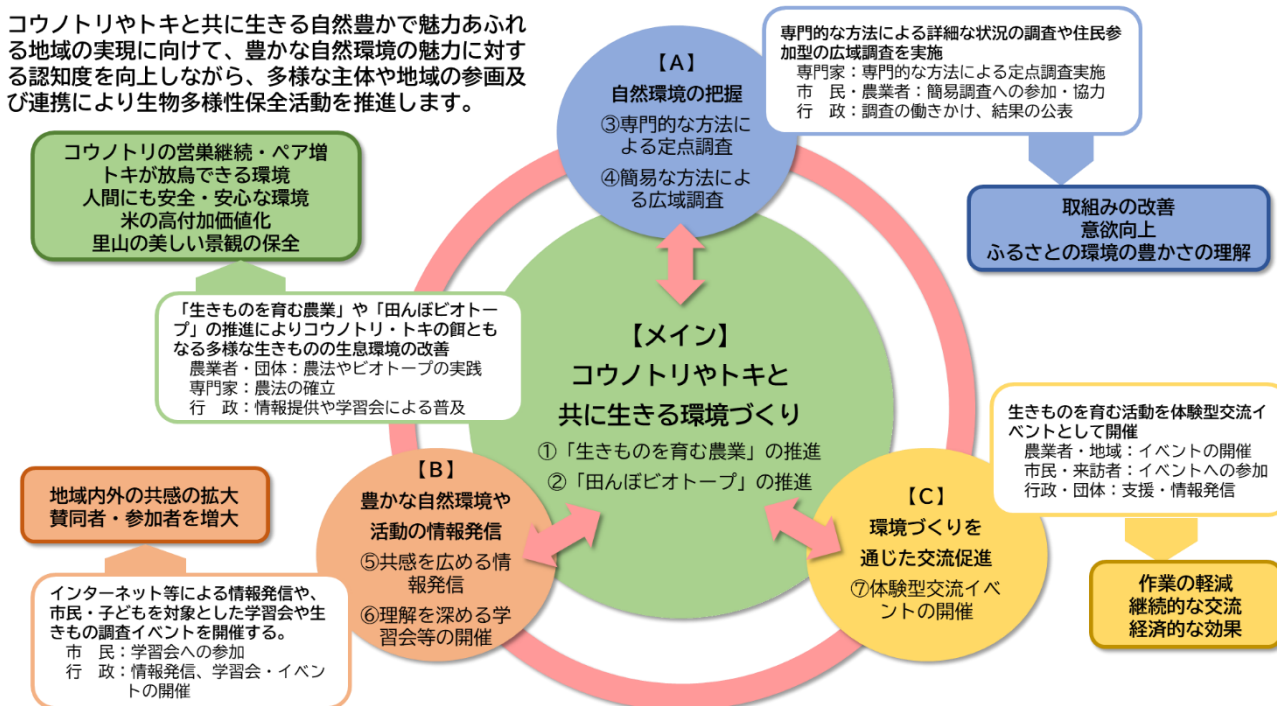
“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりの活動資金の確保をするため、10月～12月の3か月間受付をしました。975,500円のご寄附をいただきました。

## (4) コウノトリとの共生に関する条例の検討

コウノトリとの共生や保護などに関する条例について検討を始めます。作成にあたっては検討会議を設置して識見者や関係団体などの意見を参考にするほか、市民向けの学習会なども開催し、幅広く意見を求めています。

# 出雲・雲南地域広域連生態系ネットワーク推進協議会 令和3年度実施状況

当協議会では、コウノトリやトキとともに生きる自然豊かで魅力あふれる持続可能な地域の実現に向けて、令和3年4月に策定した「出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動計画」に基づき、豊かな自然環境の魅力に対する認知度を向上しながら、多様な主体や地域の参画及び連携による生物多様性保全活動を推進している。



令和3年度は、令和2年度に作成した活動計画を基に、当協議会が中心となり当地域の市民や様々な団体が連携し「ア. コウノトリやトキと共に生きる環境づくり」を中心に、「イ. 自然環境の把握」「ウ. 豊かな自然環境や活動の情報発信」「エ. 環境づくりを通じた交流促進」の3つをあわせて取組んできた。

## ア. コウノトリやトキと共に生きる環境づくり

生きものを育む農業と田んぼビオトープの検討・試行と普及活動

### a. 環境直接支払等に関する検討

島根県と連携し、よけじ等を地域特認にするため検討を進めた。

業務委託により、令和4年度に実施予定のアンケートを検討した。

### b. モデルビオトープの管理

出雲市と雲南市で各1カ所管理（継続）





出雲：令和4年1月6日撮影



雲南：令和4年1月6日撮影

## イ. 自然環境の把握

### a. 専門家によるモニタリングの継続

業務委託により、生きもの調査（食資源量に関する調査）を実施。

### b. 住民参加型の簡易な方法によるドジョウ等を対象とした広域調査

地域内でのもんどりトラップによるドジョウ調査の実施・検証のため、9月23日に技術士会の方々と現地で意見交換をした。

業務委託により、令和4年度に実施予定のドジョウ調査の実施方法を整理した。

## ウ. 豊かな自然や活動の情報発信

### a. インターネットを活用して活動の意義や活動状況を発信

業務委託により、ホームページを作成した。今後、事務局（出雲市・雲南市）で管理し、ブログを中心に情報を掲載していく。更新作業は事務局。

アドレス：<https://www.izumo-unnan-econet.com/>



ホームページ①



ホームページ②

### b. 地域内の市民・子どもを対象とした学習会・生きもの調査イベントの開催

#### ■ 学習会の開催

・ 出雲会場

日 時：11月28日

会 場：出雲市西新町 朱鷺会館中ホール

内 容：①講演「出雲市でトキは生きていけるのか」

講師 日本野鳥の会 副会長 佐藤仁志氏

②パネル展示

斐伊川水系の大型水鳥、宍道湖中海ラムサール条約関係

参加者：26名

※出雲市トキ学習コーナー10周年記念イベントの一つとして実施



学習会 出雲会場

・雲南会場

日 時：11月23日（火）10：00～12：00

会 場：木次経済文化会館チェリヴァホール大会議室

内 容：①講演「鳥たちが教えてくれる地域の豊かさのひみつ」

講師 日本野鳥の会 副会長 佐藤仁志氏

②取組紹介（オンライン）

豊岡市コウノトリ共生課 宮垣均氏

参加者：25名

チラシ：5,000部作成・配布



学習会 雲南会場①



学習会 雲南会場②

■生きもの調査イベントの開催

・出雲会場 雨天中止

日 時：10月16日(土)

会 場：出雲市野尻町の有機栽培田

内 容：田んぼの生きもの調査

講師 島根県技術士会 佐藤仁志氏

島根県自然保護レンジャー 小林浩司氏

参加者：親子8組予定(申込段階)

チラシ：2,500部作成・配布

・雲南会場

日 時：10月17日(日)

会 場：西小学校、西小学校チャレンジ田んぼ

内 容：田んぼの生きもの調査

講師 島根県技術士会 佐藤仁志氏

島根県自然保護レンジャー 小林浩司氏

参加者：親子6組

チラシ：2,000部作成・配布



生きもの調査イベント 雲南会場①



生きもの調査イベント 雲南会場②

工. 環境づくりを通じた交流促進

生きものを育む活動を体験型交流イベントとして開催することの検討

■体験型交流イベントに関する研修・意見交換

日 時：1月13日(木)

会 場：春殖交流センター

内 容：事例発表 講師 里山笑学校 多久和 厚 氏  
意見交換

## オ. 協議会運営事業

協議会の運営のための会議の開催や連絡。事務の一部を業務委託。

### ■協議会の開催 3回

1回目：第9回会議（書面開催）令和2年度実績・決算、令和3年度計画・予算

2回目：第10回会議（1月13日@春殖交流センター）実施状況、研修、令和4年度計画

3回目：第11回会議（書面開催）令和4年度計画についての意見

### 令和4年度事業のポイント

1. モデル集落を設定して集中的に実践
2. すそ野を広げる
3. 連携促進

## 斐伊川河口部の重要性について



日本野鳥の会：佐藤仁志

斐伊川水系生態系ネットワーク  
で取り上げる大型水鳥類は5種

- ① ガン類
- ② ハクチョウ類
- ③ ツル類
- ④ コウノトリ
- ⑤ トキ

# 斐伊川水系生態系ネットワーク で取り上げる大型水鳥類のうちツル類

- ① ガン類
- ② ハクチョウ類
- ③ ツル類
- ④ コウノトリ
- ⑤ トキ



## 斐伊川河口部で確認されたツル類



ナベヅル



マナヅル



ソデグロヅル



タンチョウ

# ツル類の現状と課題

- 鹿児島県出水に1万羽を超えるツル類が集中渡来
- ナベヅルは世界中の個体の8～9割が、マナヅルは約5割が出水で越冬
- もし集中地で**病気が発生したら大問題**（韓国では2000年に鳥コレラにより1万羽以上のトモエガモが病死！）
- そこで、出水に一極集中し越冬しているツル類を国内外の広範囲に**分散して越冬する取り組み**が進行中（環境省、日本野鳥の会他協力）
- **分散候補地**としては、九州地方や四国地方が考えられているが、斐伊川河口一帯も重要な候補地の一つ



H28-29年シーズンはナベヅル15羽が越冬



R3-4年シーズンはナベヅル21羽が越冬

## タンチョウ



餌場は河口周辺の水田



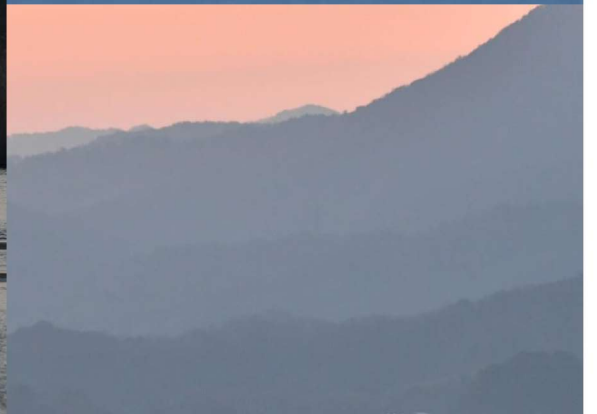
特別天然記念物(S52)



北海道以外で2羽の成鳥が見られたのは斐伊川水系だけ！



ナベヅルとコハクチョウ



斐伊川河口部はツル類の  
ねぐらとして非常に優れて  
いる！



タンチョウ



愛媛県の場合



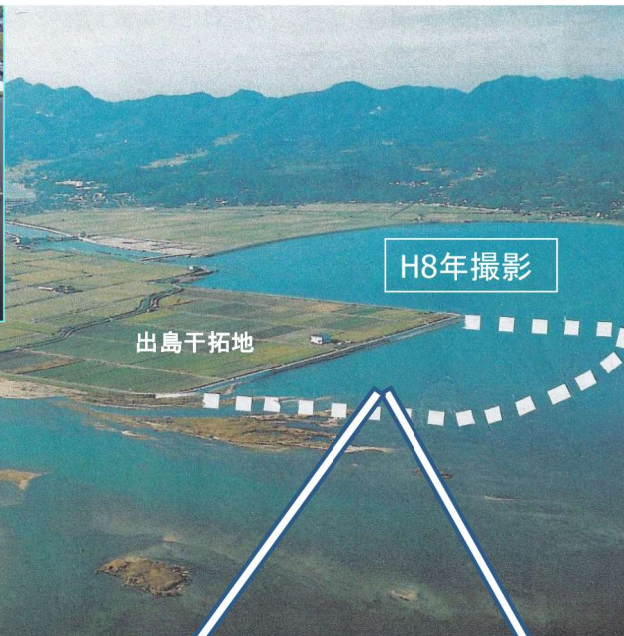
ねぐらのナベヅル



ため池周辺の水張水田をねぐらに



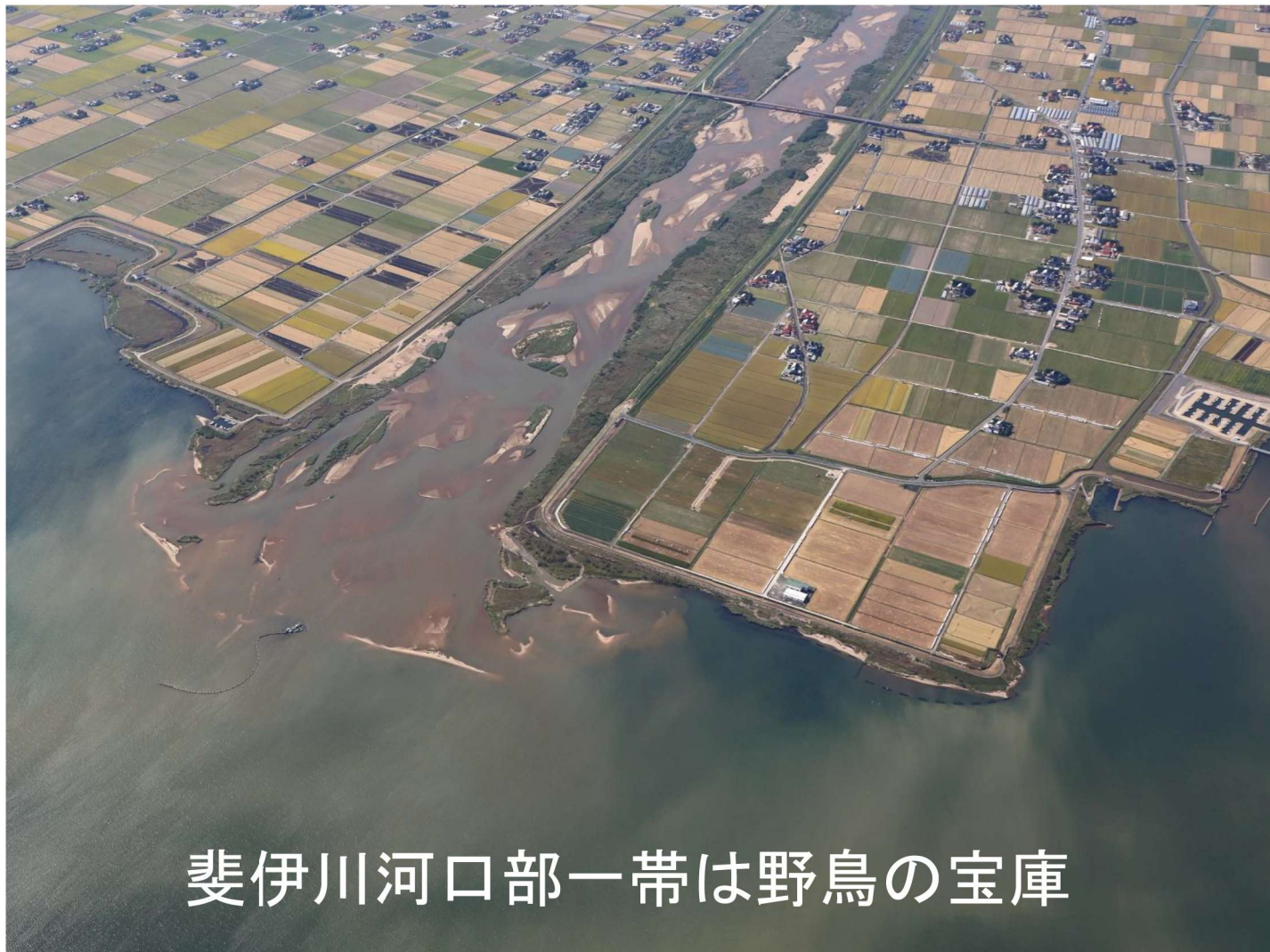
# 昨シーズン斐伊川河口左岸地先をねぐらとして利用



## 斐伊川河口左岸 (出島地区)

S60年より始まった出雲空港の滑走路延長工事に伴い出島地区の約半分が水面に





## 斐伊川河口部一帯は野鳥の宝庫



珍鳥コシギが出現！  
(R3-4シーズン)

全国から多くのバードウォッチャーがつめかけた！



## 宍道湖・中海はラムサール条約登録湿地



ところがこの写真のほとんどが登録湿地になっていない！

## ぜひ登録湿地の拡張を！

- ラムサール条約の登録には条件のクリアが必要
- 数値的要件はOK(2万羽以上、種個体数の1パーセント)
- 国の担保が不可欠(国設鳥獣保護区、国立・国定公園の特別地区など)
- 拡張はそんなに難しくない
- 国交省独自の制度でもこの担保が可能に！  
(渡良瀬遊水地で前例あり)
- ぜひ出雲河川事務所で検討を！